

第24期 哲学委員会 第一回いのちと心を考える分科会 議事録

日時：2017年12月9日 日本学術会議哲学委員会合同分科会中 10:40-11:30

出席者：安藤連携会員、一ノ瀬連携会員、香川連携会員、鈴木連携会員、戸田山会員、豊田連携会員、田坂連携会員、横山連携会員

- ・戸田山委員の司会で今期のテーマについての議論が行われた。
- ・学術会議全体として軍事研究とゲノム編集が大きなテーマであることが合同分科会の中で紹介された。
- ・特にゲノム編集については、哲学委員会の中で本分科会のテーマになる。課題別委員会など別の分科会を立ち上げることについても議論をした。運営上の煩雑さを避けるため、この委員会が主体としてゲノム編集について議論をすることで合意した。
- ・分科会メンバーに詳しい研究者を召喚、特に前期に提出された第2部の委員との連携について重要であると指摘された。また本分科会でも島園委員もこのテーマに詳しい。
- ・今後の運営については、ゲノム編集の倫理・社会的問題に詳しい研究者（北大・石井哲也氏、東大・武藤香織氏、京大・澤井努氏）を招いて講演をしていただくことにした。将来的にシンポジウム、提言等を行う際にも蓄積になる。出てきた技術を抑え込むことは難しく、いかに使っていくか、という点が重要であるとの指摘があった。
- ・シンポジウムについて、分科会主催で一度は運営することが好ましいが、予算の関係等で、学会との協力（学術会議は共催はなく、主催か後援）講演者の大学で行ったり、すでに枠組みや場所があるサイエンスアゴラ等を活用することが好ましいことが議論された。
- ・本分科会の委員長に田坂委員、副委員長に香川委員、幹事に横山委員が決まった。